

# 早稲田大学 法学部 2026年 2月15日 (詳細解説は動画にて)

\*YouTube 速報解説で内容を確認してください!

## I : 古代～現代の朝鮮半島史〈戦・年〉

- 設問1 ② 伊藤は初代統監  
設問2 ② A・C(1991年)ともに盧泰愚、Dは全斗煥  
設問3 ①  
設問4 ④ ソ連は安保理をボイコット中  
設問5 ③ 安東都護府は唐、日本は百済に援軍、清に対して「小中華」意識を高める  
設問6 ④ 板門店での休戦条約(1953)  
設問7 ④ 満洲国建国の時点では溥儀は執政、34年に皇帝になり、満洲帝国となる  
設問8 ④ A(反ソ暴動:56)、B(2021)、C(プラハの春:68)、D(天安門事件:89)  
設問9 ③ アジア通貨危機の時は金正日(金日成の死:1994)

## II : 権力への抵抗と民主主義の歴史〈文・テーマ〉

- 設問1 イ バルバロイは異民族(非ギリシア人)、デルフォイという神?(場所)、スパルタは鎖国的  
設問2 ア イはドラコン、ウはクレステネス、エは中層農民を保護  
設問3 ウ 在留外人は市民権なし、代議制にはならない、エはソロンの改革  
設問4 エ バーブ教徒の乱は1848年  
設問5 ウ  
設問6 ア ドーリア式は荘重、火はヘラクレイトス、世界市民主義はヘレニズム時代  
設問7 エ フランスのフランソワ1世とオスマン皇帝スレイマン1世が手を結び、マカール5世  
設問8 イ 「都市の空気は・・・」=農奴解放のこと、鉱山開発??、アウクスブルクは南ドイツ  
設問9 エ ジョン王は十字軍に行っていない、全国三部会??、カンタベリ大司教の叙任権でインケンティウス3世により破門、

## III : プロイセンとドイツ帝国の歴史〈文・年〉

- 設問1 3 プロイセン欽定憲法は1850年  
設問2 1 プロイセン公国はポーランド諸侯、ブランデンブルク辺境伯は神聖ローマ帝国の諸侯  
フリードリヒ=ヴィルヘルム・・・ユグノーの受け入れ  
フリードリヒ1世(←3世)・・・プロイセン王国となる←スペイン継承戦争で墺支援  
フリードリヒ=ヴィルヘルム1世・・・兵隊王、西プロイセン獲得←北方戦争  
フリードリヒ2世・・・啓蒙専制君主、マリア=テレジア、シュレジエン獲得  
フリードリヒ=ヴィルヘルム2世・・・ポーランド分割(2・3回)

- 設問3 2 第2回は都市労働者、ドゥーマ開設は1905年、ノルウェー独立は1905年
- 設問4 4 プロイセン東部はウィーン議定書でプロイセンが獲得した地域でカトリック教徒が多い
- 設問5 1 ビスマルクはフランスのチュニジア支配を認めることで、フランスのヨーロッパ支配から目をそらさせる目的があったらしい・・・
- 設問6 2 カントは18世紀末に活躍した哲学者なのでドイツ帝国では無理
- 設問7 2 日英同盟→英露協商、ロシアはオスマン帝国領のスラヴ人の独立を支持、未回収イタリアはトリエステと南チロル
- 設問8 4 中立はベルギー、マルヌではフランスが死守、ヒンデنبルクは2代大統領

#### IV:オスマン帝国史〈戦・年〉

- 設問1 ニ 軍管区(テマ)制とプロノイア制の違いを再チェック、レオン3世は聖像禁止令、ビザンツ帝国はエジプト・シリアを正統カリフのウマルに奪われている
- 設問2 ロ ブハラ=ハン国を保護国化したのは19世紀のロシア帝国
- 設問3 ロ ベーメン王をオーストリア王が兼任するのは1526年から
- 設問4 イ
- 設問5 イ でも、ギリシアはスラヴ人ではないので注意して!
- 設問6 ハ アラブ連盟はアラブ人の国家が対象
- 設問7 ニ フランスのルール撤退は1924年で、その後ロカルノ条約が25年に締結
- 設問8 ハ 棍棒外交?、ザール併合→再軍備宣言、イギリスはスペイン内戦では不干渉

#### V:パレスティナ問題(ユダヤ人にとってのパレスティナの意義とWWI中~建国宣言)

- シオニズム運動  
反ユダヤ主義が蔓延する中で生まれたこの運動は、離散ユダヤ人が民族国家再建を目指した場所を歴史的祖国パレスティナへの帰還を目指した
- バルフォア宣言  
1917年、戦時中の財源確保のためにユダヤ資本の援助を狙ったイギリス外相バルフォアがパレスティナにおけるユダヤ人の「ナショナルホーム」の建設支持を表明、しかし、非ユダヤ人の権利を侵害しないことも条件とした
- 委任統治  
オスマン帝国の敗戦条約であるセーヴル条約において、オスマン帝国は西アジアの多くの領土を国際連盟の委任統治領にあった。具体的には、パレスティナ及びイラク・ヨルダンが国際連盟の常任理事国であるイギリスの委任統治を行った。しかし、このことでユダヤ人の一定程度の移住は認めるが、同時にアラブ人も統治した。そうした中、1930年代にドイツやイタリアで

迫害されたユダヤ人の移住が増加するとアラブ側が反発し、暴動や紛争が勃発

- 国際連合

イギリスは移民制限などの政策に切り替えるが、双方の反発でさらに統治は困難に!

WWIIが終了し、イギリスでアトリー首相の労働党が成立し、インドとともにパレスティナを手放すことを決定、1947年に国連決議でパレスティナ分割案が決議される、48年にユダヤ人はイスラエル建国を宣言するが、アラブ側は不平等だと反発し、第1次中東戦争(パレスティナ戦争)が勃発した。